

～つながる、広がる、便利になる～

私たちの道路ネットワーク

私たちのまちの発展を支える「幹線道路」をご存じですか？

幹線道路は、単なる道路ではなく、地域の発展を支える基盤インフラです。道路と道路がつながり、道路ネットワークが広がることで、交通・経済・防災・生活環境が向上し、私たちの生活の質が大きく改善されます。

今回の特集では、「鈴鹿四日市道路」や「鈴鹿亀山道路」といった広域な幹線道路や、「汲川原橋徳田線」、「平野三日市線・三日市地子町線」などの地域の幹線道路など、国・県・市が一体となって事業を進めている道路の整備状況や新たに開通した道路などを紹介します。



鈴鹿四日市道路【国】

北勢バイパスと中勢バイパスを連結する幹線道路で、四日市市采女町から鈴鹿市稲生町までの延長7.5kmが事業区間です。現在、稲生町から野辺町まで事業承認がなされ、工事着手に向けて、用地測量、設計・調査などが行われています。

期待される整備効果

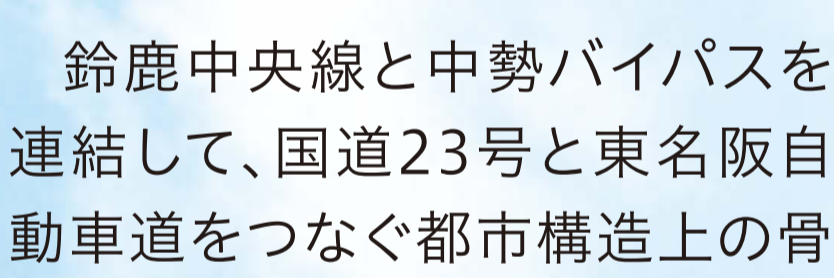
- ◆国道23号の渋滞が緩和される。
- ◆大規模災害時に安心・安全なルートが確保される。

鈴鹿亀山道路【県】

鈴鹿四日市道路と亀山JCTを連結する自動車専用道路で、野辺町から亀山市辺法寺町までの延長10.5kmが事業区間です。現在、工事着手に向けて、設計・調査・用地取得が進められています。

期待される整備効果

- ◆高速道路までのアクセス時間が短くなる。
- ◆防災機能が向上する。



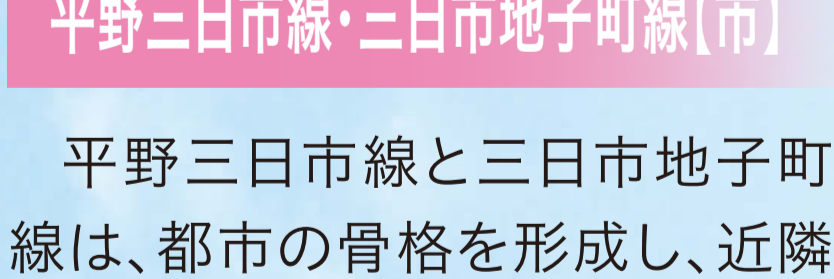
▲鈴鹿四日市道路【国】・鈴鹿亀山道路【県】

汲川原橋徳田線【市】

鈴鹿中央線と中勢バイパスを連結して、国道23号と東名阪自動車道をつなぐ都市構造上の骨格となる幹線道路です。現在、慢性的な渋滞の緩和と安全で快適な自転車歩行者道の確保を図るため、平野町から国府町までの延長1.3kmの事業区間で、4車線化する道路拡幅工事を進めています。

期待される整備効果

- ◆4車線化により、慢性的な渋滞が緩和できる。
- ◆歩道整備によって、歩行者・自転車の安全性が確保できる。



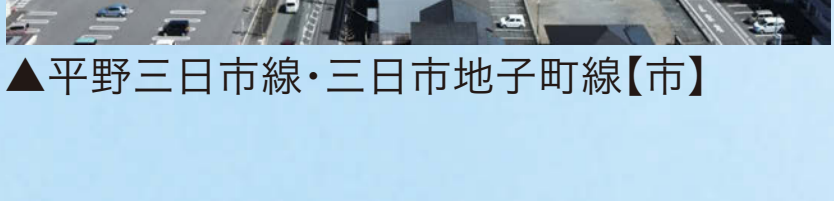
▲汲川原橋徳田線【市】

平野三日市線・三日市地子町線【市】

平野三日市線と三日市地子町線は、都市の骨格を形成し、近隣住区相互を連絡する幹線道路です。本路線は汲川原橋徳田線と鈴鹿四日市道路を結び、医療拠点である鈴鹿中央総合病院へのアクセスを確保する重要な役割を担い、救急車の搬送時間短縮が期待されています。現在、算所町から地子町までの延長2.3kmで、用地測量と用地取得を進めており、工事着手に向けて準備を進めています。

期待される整備効果

- ◆現在、計画している鈴鹿四日市道路へのアクセスがしやすくなる。
- ◆鈴鹿中央総合病院までの搬送時間が短縮できる。



▲平野三日市線・三日市地子町線【市】

新たな道路の開通 と交差点改良

磯山バイパス
II期工区
開通式



主要地方道鈴鹿環状線 (磯山バイパスII期工区)【県】

令和8年3月19日に主要地方道鈴鹿環状線(磯山バイパス)が全線開通し、国道23号から中勢バイパスまで通行できるようになりました。



開通の ポイント

徳田町付近の鈴鹿環状線は、道幅が狭く朝夕を中心に混雑が発生し、課題となっていました。今回の全線開通により、周辺地域の混雑緩和と共に、国道23号から中勢バイパスがつながることで、交通利便性の向上、産業・物流の効率化が期待できます。また、大規模災害発生時には緊急輸送道路として沿岸部への救援ルートとしての役割も担っています。

鈴鹿建設事務所
事業推進室
鈴鹿亀山道路課

みたらい はると
御手洗 温都さん



主要地方道神戸長沢線 (定五郎橋南詰)【県】

令和7年5月13日に主要地方道神戸長沢線の道路改良工事が完成し、定五郎橋南詰交差点に右折レーンを設置したことにより、朝夕の慢性的な渋滞が緩和しました。



開通の ポイント

以前の交差点には右折レーンがなく、通勤時間帯の右折待ちの車両による渋滞が課題となっていました。交差点を南に移設し、新たに右折レーンを整備したことで、朝夕の混雑が緩和され、交通の流れが改善しました。

鈴鹿建設事務所
事業推進室
道路課

なかもり こうすけ
中森 康介さん



広がる地域の可能性!

鈴鹿PAスマートインターチェンジ

平成31年3月、鈴鹿パーキングエリア（鈴鹿PA）スマートインターチェンジが開通し、令和7年12月末時点で、約313万台が利用しています。

本市の西の玄関口として、地域住民の暮らしの向上や、アクセス向上による地域産業の発展、観光振興に貢献しています。さらに、代替道路の確保による物流の安定化など、多面的な効果を発揮しています。



スマートインターチェンジによる地域産業の活性化

鈴鹿PAスマートインターチェンジの開通を契機に、新名神高速道路へのアクセスが良好なエリアに鈴鹿椿工業団地が整備され、「株式会社日本陸送」の鈴鹿物流センター営業所、「JA全農みえ」の茶センターが新規立地しました。



▲鈴鹿PAスマートIC
(ETC搭載車両のみ通行可)

利便性と安全性の向上につながる拠点



株式会社日本陸送
専務取締役

ふじ さき のぶ お
藤 崎 伸 雄さん

令和7年8月、鈴鹿椿工業団地内に鈴鹿物流センター営業所を竣工しました。インターの近くに拠点を構えたことで、高速道路が近く輸送が便利になりました。それにより、走行時間が減少しました。ドライバーの労働時間が減り、利便性と安全性の向上につながっています。

さらに、物流業界では環境面に配慮した物流が求められていますので、当社では大量輸送ができるダブル連結トラックを導入し、走行車両から排出されるCO2の削減に取り組んでいます。



▲鈴鹿物流センター営業所



▲ダブル連結トラック

スマートインターチェンジを利用して、 鈴鹿PA「PIT SUZUKA」に お立ち寄りください



新名神高速道路 鈴鹿PA「PIT SUZUKA(ピット スズカ)」は、大阪方面と名古屋方面の両方から利用することができるパーキングエリアです。施設内はモータースポーツを感じられる仕掛けをはじめ、グルメやお土産など、鈴鹿ならではの魅力がいっぱいです。高速道路に乗る前はもちろん、一般道から入ることもできますので、ぜひ鈴鹿PA「PIT SUZUKA」をご利用ください。



鈴鹿市土木部長

やまもと ふみよし
山本 章善

道路は、車や人が通るだけでなく、街の形成、防災、環境面などで、さまざまな役割を果たしています。特に、市内の主要な幹線道路は、都市の発展を支える重要な施設です。

また、道路には、土地利用を誘導する効果もあり、整備された幹線道路沿いやインターチェンジ周辺では、民間による工業団地の造成が進み、新たな産業拠点が形成されています。

鈴鹿市が持続的な発展をしていくには、道路インフラの整備が必要となりますが、一方で、公共事業を継続的に進めていくためには、予算の確保が欠かせません。既に整備された施設の更新時期を迎えることから、国・県の道路事業と連携を図りながら、事業の効果が最大限に発現できるように道路ネットワークの構築を進め、「道づくり」に取り組んでまいります。

今回の特集に関するご意見・ご感想

土木総務課 ☎059-382-9072 ☎059-382-7612

✉dobokusomu@city.suzuka.lg.jp